

# 2010年度役員紹介

## 弁護士会に求められていること

— 2010年度会長に就任して —

東京弁護士会会長 若旅 一夫

本年度会長に就任した若旅一夫です。

本年度役員一同、職員の方々とともどもにその協力を得て一年間会務に専心してまいりますので、くれぐれもよろしくお願い致します。

「市民のための司法」を築くこと、身近で頼りがいのある利用しやすい弁護士及び弁護士会となること、これが市民の期待に応える要点と考えます。同時に、会員がその資格と能力を生かし、使命感と誇りとやりがいをもって仕事に打ち込める業務環境を整えることが弁護士会の会員に対する責任であると思います。弁護士会の役割として、市民の期待に応え信頼を築くこと、会員の期待に応え会員を守ること、そのいずれも疎かにできません。弁護士会がそれらの多面的な役割と責任を十分に果たすことが、今、弁護士会が求められていると考えます。

裁判員裁判、本格的被疑者国選、法テラス、法科大学院を中核とする法曹養成、刑事司法、民事裁判、行政訴訟など私たちが当面する改革課題は山積していますが、1つ1つ堅実に克服してゆきたいと思えます。将来の弁護士会の在り方を考える上で、一番のポイントは、司法改革の実践によってめざそうとしている「法化社会」について会員が認識を共通にすることではないかという点です。弁護士が「あるべき法化社会像」を共有することです。

法化社会の骨子について、市民の視点、弁護士の視点、弁護士会の視点、3つの視点から次のように考えます。

### ①市民の視点

あらゆる法的ニーズに対応し充足できる社会（分野、事件規模、地域を問わず）。とりわけ、採算のとれない事件、社会的弱者への法的支援が徹底できる社会。

### ②弁護士の視点

弁護士がその資格・能力を生かし、誇りとやりがいをもって仕事ができる社会（高い志をもった有為な人材がより多く法曹を目指すような社会）。

### ③弁護士会の視点

全員加入制の全国統一組織としての日弁連及び各地弁護士会が自治権をもって存続する社会。

今般の日弁連会長戦で中心的な争点となった法曹人口問題も、あるべき法化社会の実現という視点で考えたいと思えます。

将来的な適正弁護士人口は、司法改革により法の支配が社会の隅々に行き渡った「法化社会」を実現するために、どのような弁護士がどのくらい必要か又弁護士が少なかったり多すぎる場合、あるべき法化社会の実現の妨げにならないかを判断の基準にすべきではないかということです。

会員が中長期的な視野で共通の理想と目標をもつことが対立を団結に変えることになり、弁護士と弁護士会が将来に向けて発展する急所であると思えます。

この一年、よろしくご支援、ご協力をお願い申し上げます。

2010年度の役員に  
誌上インタビューを行いました。  
1年間よろしく願いいたします。

質  
問

1. 一番関心のあることは何ですか？
2. 一番大切にしていることは何ですか？
3. 長所・短所、趣味は何ですか？
4. 弁護士になって感動したこと・つらかったことは？

## 市民の圧倒的信頼を

会長 若旅 一夫 (26期)



1. 日弁連、弁護士会の団結と発展。自治、法律事務独占の堅持。  
対話による平和の実現。
2. 健康
3. 長所：人の意見を尊重すること、良く考えること。  
短所：もの忘れが多いこと。

趣味：絵を描くこと。副会長時代に描いた絵が、作者不明で東弁役員室に飾ってあり驚きました。

4. 感動したこと：弁護士が実にやりがいのある仕事であったこと。  
つらかったこと：依頼者に誠意が伝わらず、信頼を得られなかったこと。

## 楽しい会務活動を

副会長 若松 巖 (36期)



1. 東京弁護士会の副会長として、東京弁護士会が抱える諸問題について、いかに会員の総意をまとめるかという点です。
2. 人の意見をまず聴いて、その人の立場を理解することです。
3. 長所は人と人の和を大切にせず争いを好まないことです。短所はその裏返しで、物事の決断力が不足している点です。  
趣味はバラ栽培と料理をつくることです。その他趣味とボケ防止を兼ねて1万語を目標に英語の単語を覚える努力をしていますが、遠い

道のりです。

4. 原審が実刑であった恐喝事件で、原審の国選弁護人が「示談は弁護人の仕事ではない」との理由でまったく示談をしなかったため、極く低額の着手金で控訴審を担当し、5～6件の示談を成立させて執行猶予の判決を貰いました。その判決の後、執行猶予がついて大変感謝されたため満足していましたが、この刑事事件終了後に被告人の家族が約束していた報酬を払わず、請求書を送ってもまったく連絡もくれなかったことはつらかった思い出です。

## 力まず楽しく

副会長 木村 雅行 (38期)



1. 現在のような経済情勢と司法改革が進んでいる中でこれからの弁護士業界、東京弁護士会がより良くなるにはどうしたら良いか。
2. 人との出会い、そして、人との和を大切にしたいと思っています。
3. 人からよく優しいと言われるので、これが長所かなと思います。短所としては意思が弱いところかなと思います。

趣味は、能面打ち、下手ですがゴルフ、パン作り、孫娘？など

4. 家も取られてお金の無いおばあさんの依頼者からスーパーで買ったちゃんちゃんこが送られて来たことが一番心に残っています。つらいのは、どなたも同じと思いますが、依頼者に理解してもらえなかった時です。

## 決断と実行を

副会長 上田 智司 (38期)



1. 法曹養成の問題と法科大学院の問題、若手弁護士や、これから法曹の道へ進む人たちが誇りを持って仕事ができる基盤作りに力を注ぎます。
2. 瞬時の決断力と、決断を実行する果敢さ。これまで実行しないで後悔することよりも、壁に当たって苦勞することの方を選んできました。
3. 長所は、何事も諦めず、またリカバリーショットが上手いこと。短所はエンジンのかかりが遅いこと。趣味は下手の横好きのゴルフ。
4. 思い出に残るのは、破産した自動車部品メーカーの工場を管財人として再開させ、営業譲渡にこぎつけ、雇用の確保もできたこと。最近感動したことは、医療訴訟で諦めず努力した結果、裁判の流れが変わり、いつも冷静だった依頼者から涙声で感謝の言葉を言われたこと。辛かったことは数々あるような気がしますが、相性の問題と考え、早く忘れることにしています。

## 未来を見据えて着実に

副会長 山田 正記 (39期)



1. 法曹人口増加の中で、法曹養成制度の改革を図り、司法の制度的基盤を確立するという課題に取り組むこと。そして弁護士が人権擁護活動を始めとするさまざまな公益的活動に取り組んでいる実情や、弁護士の業務の内容が幅広いものであることを市民の皆さんに知っていただけるような広報活動を弁護士会として積極的に取り組むこと。
2. 人を信頼し、また人から信頼されること。
3. 長所は、明るく前向きに考えること。  
短所は、興味が多方面にわたり集中力を欠く結果になること。  
趣味は、読書（ツン読も多いですが）、ハイキング、ウォーキング（これはメタボ対策の興味もあります）。
4. 月並みですが、困難な案件を終えて依頼者から感謝の手紙をもらった時。つらいことは時たまありますが、時が解決してくれます。

## 変わり者です

副会長 濱田 広道 (39期)



1. やはり司法改革のゆくえですね。東弁の選挙公報にも書きましたが、司法をより良いものにすることが私のライフワークですので。
2. 変わり者を邪険に扱わないこと。
3. 長所は、誰とでも意気投合できること。  
短所は、形式にこだわりすぎて、実質を伴わない場合があること。
- 趣味は、囲碁とゴルフと中島みゆき。
4. 感動したのは、公設事務所や法テラスの弁護士・職員のみなさんの仕事ぶり。つらかったことは、思い浮かびません。

## レッツビギン！

副会長 下谷 収 (40期)



1. とにかく修習生と若手弁護士に、東京弁護士会が、魅力ある職場環境を提供出来ないか、あらゆる可能性を試したいと思います。
2. 何事にも誠実に取り組み、自分と触れ合う皆さんとの信頼関係を築くことと自分の心に嘘をつかないことです。
3. 長所は、人に喜んでもらうことが何より好きなことでしょうか。短所は、血液型がAB型からくるのか、ムラ気があり、乗り出すと止まらない位集中するのですが、やる気が出ないと全く何もしないことです。
- 趣味はゴルフ、特に今年度は若旅会長に1回でもグロスで勝つことを目標にしています！
4. いろいろ感動したことはありますが、一つ挙げるとするならば、岩手県遠野支部の事件で、余り裕福ではなかった地元の依頼者の方からお礼に凍結ドブコクを一升瓶で頂き、とても美味しかったことです。でも、それ以外にも多くの依頼者の方からお礼を言われるとジーンときますね。辛かったのは時々あるのですが、依頼者とうまくコミュニケーションが取れなかった時ですね。

## 堅実な進歩を

監事 大井 暁 (44期)



1. 弁護士増員時代に弁護士自治をどう守るのか。弁護士会の将来を見据えた財務の在り方に一番関心があります。
2. 家族です。
3. 長所は、慎重で根気があることだと思います。短所は、長所の裏返しでとても頑固なところ。調子に乗る面もあり「事の破るは得意の日にあり。」と自戒しています。

趣味は、読書と家族旅行です。近年読んで良かったと思った本は、山崎豊子の「二つの祖国」です。

4. 依頼人の信頼に応えられたときや感謝の言葉を頂いたときは、弁護士になってよかったと感じます。辛かったことは、依頼人の期待に応えられなかったときで、自己嫌悪に陥り長く落ち込みます。

## なりゆきのままに

監事 水上 博喜 (46期)



1. 弁護士の業務・職域の拡大です。しかし監事を拝命した以上監事の職務に関心を寄せています。
2. なにより人との交流でしょうか。そして、冒頭に書いたとおり、なりゆきとか縁を大切にしています。
3. 長所は多分明るいこと・めげないことでしょうか。短所はいい加減・どんぶり勘定・適当などあげつらうときりがありません。趣味は先月号の「コーヒープレイク」のとおり、ダイビン

グです。後はオペラが好きです。

4. 感動したことは、もう10年くらい前になるのですが、日本に入国直後の中国人が友人に騙されて窃盗団の見張りをさせられ起訴された事案なのですが、友人がみな実刑になる中執行猶予が取れたときに抱きつかれて泣かれたことでしょうか。恥ずかしいことに思わずもらい泣きしてしまいました。つらかったことですが、私にとって弁護士稼業はいつでもつらいです。

### 2010年度 東弁常議員 (80人)

矢花 公平	遠藤 晃	菅野 利彦	中村 博明	香川 美里	山本 志都	鈴木孝太郎	昼間 由真	安孫子理良
福田 耕治	由岐 和広	橋本 敬	中村 一郎	佐野 周造	渡辺 直大	宮舘 雅義	太田 雅幸	加藤 恭子
高橋 輝美	宇多 正行	鍛冶 良明	関口 智弘	小森 貴浩	岡部 真也	岸本 有巨	大澤 康泰	松下賢一郎
藤井 真人	矢吹 公敏	進士 肇	生田 康介	望月 克也	松原 拓郎	置塩 正剛	沼 宏一郎	柿沼 真利
坪井 節子	高田 弘明	佐々川直幸	清野 英之	飯田美弥子	木村 隆志	岩田 修一	古屋 丈順	大植 幸平
黒岩 哲彦	久恒 三平	末次 弘明	島 弘毅	中島 龍生	有坂 秀樹	野間 敬和	今西 順一	平澤 真
蒲野 宏之	瀬野 俊之	津田 直和	寒竹 里江	野村 完	青柳 周	中村 隆史	真下美由起	西村 公芳
山本 哲子	平沢 郁子	中尾 正浩	中田 憲孝	菅沼 篤志	右崎 大輔	大村 郁文	吉原 隆平	寺崎 裕史
緒方 孝則	近藤 早利	田中 千草	塩澤 彰也	藤川 綱之	水上 理	山花 宣夫	木下いずみ	

### 2010年度 日弁連代議員 (126人)

矢花 公平	宇多 正行	横山 渡	渡邊 敦子	中田 憲孝	山本 志都	横澤 康平	大澤 康泰	米田 秀之
中本源太郎	木村 雅行	橋本 敬	日野 明久	塩澤 彰也	渡辺 直大	岸本 有巨	沼 宏一郎	中谷 達也
福田 耕治	武内 更一	川村 理	中尾 正浩	深澤 勲	岡部 真也	置塩 正剛	古屋 丈順	柿沼 真利
高橋 輝美	矢吹 公敏	柴垣 明彦	田中 千草	香川 美里	松原 拓郎	小坂 俊介	今西 順一	大植 幸平
藤井 真人	清見 勝利	藤田 正人	中村 昌典	佐野 周造	木村 隆志	保木野秀明	真下美由起	平澤 真
前田 茂	濱田 広道	鍛冶 良明	中村 博明	小森 貴浩	有坂 秀樹	岩田 修一	吉原 隆平	水田 修義
坪井 節子	安部陽一郎	米山 健也	山王 重樹	望月 克也	相澤 和義	吉新 拓世	木下いずみ	西田 弥代
林 史雄	下谷 収	海野 浩之	大越 徹	飯田美弥子	青柳 周	野間 敬和	三神 光滋	田中純一郎
黒岩 哲彦	高田 弘明	進士 肇	関口 智弘	中島 龍生	右崎 大輔	荒川真紀子	饗庭 亨一	西村 公芳
蒲野 宏之	久恒 三平	市川 充	遠藤 賢治	野村 完	水上 理	中村 隆史	安孫子理良	伊村健二郎
山本 哲子	瀬野 俊之	佐々川直幸	生田 康介	菅沼 篤志	井村 華子	大村 郁文	中神 綾子	西岡 毅
緒方 孝則	平沢 郁子	兼川 真紀	清野 英之	藤川 綱之	熊谷 史夏	山花 宣夫	加藤 恭子	岡田 俊也
遠藤 晃	近藤 早利	末次 弘明	島 弘毅	木下 貴博	鈴木孝太郎	昼間 由真	高梨 滋雄	石渡 幸子
由岐 和広	菅野 利彦	津田 直和	寒竹 里江	富田 和弘	宮舘 雅義	太田 雅幸	松下賢一郎	寺崎 裕史